

三心を磨く

学校だより NO. 32

平成29年 12月15日(金) 発行

須坂市立東中学校

文責：金井 勝久 (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

昨年度の結果から大きく躍進！ ほとんどが『80%越』へ！

～ 学校評価アンケート（生徒による）の結果をお知らせします ～

先日の授業評価に続いて、生徒の皆さんにも「学校評価アンケート」をとりました。今回、その結果について昨年度と比較してお知らせしますのでご覧ください。

※アンケートは「そう思う」「だいたいそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」から1つ選び回答しています。その中で「そう思う」「だいたいそう思う」を肯定的な受け止めとしました。

問	調査項目	昨年度	本年度	増減
1	東中学校の生活に全体として満足している	85%	88%	↗
2	先生方は、学習や進路の情報を充分してくれる	91%	92%	→
3	東中学校は「楽しい」	72%	86%	↑
4	コスモス街道の活動・須坂荘との交流・職場見学・職場体験学習・福祉学習などは自分のために役立っている	92%	92%	→
5	妙高高原学習・修学旅行・東祭・音楽会などの行事は、楽しく充実していた	94%	97%	↑
6	三心清掃では、無言で、最後まで取り組んでいる	77%	94%	↑
7	授業は分かりやすく、楽しく学ぶことができる	81%	88%	↑
8	「これだけは100%」・毎日の家庭学習の取組・夏休みの補習などにより「やればできる」と思うようになった。	72%	79%	↑
9	毎日家庭学習に取り組んでいる。	77%	89%	↑
10	自分で計画して自主学習に取り組んでいる。	65%	80%	↑
11	先生方は、あいさつや服装（身支度）などの基本的な生活習慣を身につける指導をしている。	90%	96%	↑
12	先生方は、一人ひとりの生徒を大切に、いじめや体罰のない安心な学校生活を送れるようにしている。	88%	93%	↑
13	先生方は、学習への質問や学校生活等の相談に、ていねいに対応している。	90%	89%	→

※「増減」の矢印は「±1」は「→」とした。アンケートは182名（全校生徒185名中）回収率「98%」

☆☆☆ 生徒のアンケートから学んだこと ☆☆☆

○全13項目中、12項目で肯定的な受け止めが80%を越えています。昨年度が8項目であったことを考えると大きく改善されました。これは授業改善を進めたり、生徒会活動の充実を図ったり、行事を見直したりして、学校生活にメリハリをつける取組をした成果であり、「生徒たちが現在の学校生活に対して満足している」ととらえることができます。これからもさらなる高見をめざしていきます。

- 今年度1「学校生活への満足度」・3「学校の楽しさ」・7「分かりやすい授業」については達成目標を「90%」と設定して取り組んで参りました。しかし結果としては、1「学校生活への満足度：88%」・3「学校の楽しさ：86%」・7「分かりやすい授業：88%」の回答となり、目標を達成することはできませんでした。この3つの項目についての、各学年の達成率は以下の結果となりました。

	1学年	2学年	3学年	平均
項目1	91%	82%	94%	88%
項目3	90%	77%	94%	86%
項目7	88%	83%	96%	88%

3学年は全項目が90%以上であり、1学年も2つの項目が90%を越えています。2学年が全項目で90%を下回っています。一般的には「2学年は中だるみの時期」などとも言われますが、本校においても、それを感じる面があります。斜面や復習ワークなどの宿題の提出率の低さ、生徒会活動における回収率の低さなどがその一例です。



部活動や生徒会を引き継いだ2学年には、「意識の向上」や「主体的な活動」を仕組む中で、困難の克服や成功体験を増やすことで「満足感」や「楽しさ」を味合わせ、学校のリーダーとしての「ギアのチェンジ」を求めています。

また、授業改善をさらにすすめ、「分かる」授業・「できた」と感じられる授業の実践を行い、来年度こそ「90%」の目標達成をめざします。

- 6「三心清掃」は77%から94%へ、11「あいさつ」は90%から96%へと大きく伸びました。今年度生徒会の「徹底した啓発活動」「学年を越えた縦の連携」「職員生徒による師弟同業の取組」などの活動が大きく起因しています。生徒が主体となって呼びかけや実践をしたことに大きな前進がありました。

清掃やあいさつは基本です。この前向きな取組を東中の不易なるものとし、100%により近づくものへとしていきます。

- 8「これだけは100%…やればできる」については、昨年度より7%上昇し、あと1%で80%にまで迫ってまいりました。これは「家庭学習充実の取組」「夏休み・春休みの補習学習」「練習問題→単元テスト→プレテスト→定期テストのサイクルの実施」などの成果が見え始めてきたと言えます。

しかし生徒たちには、「やったからできた!」「やれば自分はできるんだ!」という達成感が、まだ十分に感じられていない、なかなかもてていないようです。

これからはTT指導の改善や工夫を行い、より一層生徒一人ひとりへの支援も重視した指導を進めていきます。また、そうした取組を通して「何が身についたのか」について「小テスト」を通して確認し、「テストができる体験」をさせ、「できた!」「わかった!」といった満足感や達成感を、生徒により多く味合わせていきます。

◇自分のことや東中学校のことで「誇り」だと思っていること

- ・豊かな自然に囲まれていること
- ・長年続くコスモス街道への取組
- ・「いじめ」がないこと
- ・男女や学級、学年、先輩後輩を問わず、みんな仲良く友だちのようにできること
- ・全体で「無言清掃（三心清掃）を行えていること
- ・「斜面」の学習を取り入れていること
- ・東祭や須坂荘への訪問、JRCの活動、アルミ缶やエコキャップの収集など、生徒会活動が盛んなところ
- ・デジタル黒板やタブレットなどICT機器の設備が充実していること
- ・長野県の学校の中で唯一「あいサポート」の団体に入っていること、表彰されたこと
- ・全校で合唱を一生懸命に頑張り、大きな声で歌えること。
- ・あいさつがしっかりできること
- ・先生たちは分からないところがあっても、ゆっくり分かりやすく説明してくれること
- 他

○今回のアンケートでは、112名という多数の生徒が、自分の思いを記述しました。自分の学校の「誇り」が、たくさん記述できる部分に、現在の東中生の満足度の高さが表れています。

○「あいサポート」「ICTの環境」「合唱」「人間関係の安定」「清掃やあいさつ」などについて「誇れる」と考える生徒が多く、本年度、学校としてめざしてきた点と見事に合致しています。

